

HANEDA

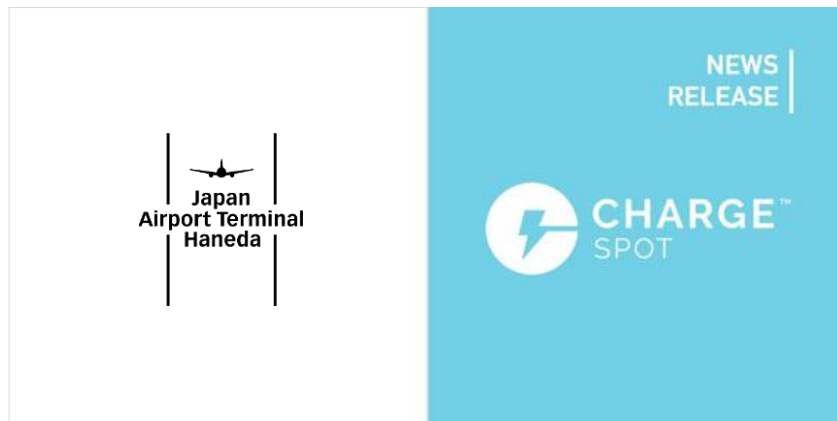
Tokyo
International
Airport



News Release

2022年7月20日
日本空港ビルデング株式会社

モバイルバッテリーシェアリング「ChargeSPOT」 7月20日(水)より羽田空港第3ターミナルにも設置



日本空港ビルデング株式会社は、株式会社 INFORICH（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：秋山広宣）が展開するモバイルバッテリーシェアリングサービス「ChargeSPOT」を2022年7月20日(水)より羽田空港第3ターミナルに設置します。

日本設置台数シェア No.1*の「ChargeSPOT」はモバイルバッテリーを「どこでも借りられて、どこでも返せる」をコンセプトに2018年4月からサービスを開始し、全国の駅、空港、商業施設や飲食店、コンビニエンスストア、公共施設などを中心に現在約30,000ヶ所まで設置場所を拡大しています。

※INFORICH調べ

既に羽田空港第1・第2ターミナル（国内線）の24ヶ所に「ChargeSPOT」を設置しておりましたが、羽田空港第3ターミナルにも設置が開始されることにより、国際線をご利用されるお客さまも「ChargeSPOT」をご利用いただくことが可能になりました。

なお、「ChargeSPOT」のモバイルバッテリーの容量は5,000mAhの為、機内に持ち込むことができ、フライト中に充電し旅先で返却することもできます。

今後も日本空港ビルデングと「ChargeSPOT」は「空のインフラ」として、空港をご利用になるお客さまの利便性向上を図ってまいります。

■ 設置概要

設置日 : 2022年7月20日(水)

設置場所 : 羽田空港 第3ターミナル 1階エントランスプラザ 案内所付近
3階出発ロビー 案内所付近



ChargeSPOT のサービスについて

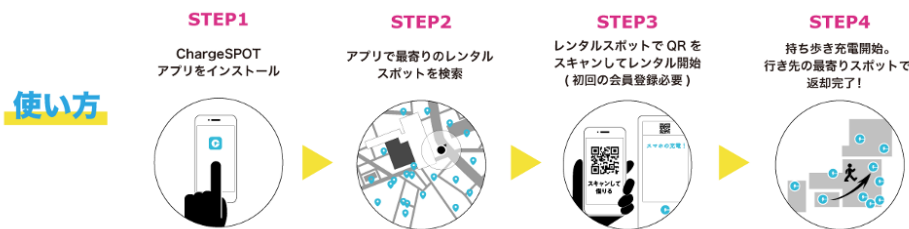
モバイルバッテリーシェアリング「ChargeSPOT」。レンタル方法は ChargeSPOT 対応アプリでバッテリースタンドの QR コードをスキャンするだけの簡単操作。日本全国 47 都道府県に設置されており、グローバルでも香港、タイ、台湾とエリアを拡大中です。

外出時にスマホの充電が足りない・・・そんな時はチャージスポット。対応アプリから近くのバッテリースタンドを探してバッテリーを借り、別のバッテリースタンドに返却することができます。

「ChargeSPOT」の専用アプリに加え、「LINE」「d 払い®」「PayPay」「au PAY」などの各種対応アプリで QR を読み込んでバッテリーを借りることが可能で、専用アプリをダウンロードしていなくてもその場でサービスを利用できます。



■ 「ChargeSPOT」 ご利用方法



アプリ名称 : ChargeSPOT チャージスポット

ダウンロードはこちら : <https://go.onelink.me/GQjX/cc9f2407>

■ 「ChargeSPOT」 ご利用料金 (税込)

30 分未満は 165 円、6 時間未満は 330 円、24 時間未満は 480 円、48 時間未満は 660 円でレンタルできます。その後最大 5 日間 (120 時間) まで 1 日 (24 時間) 330 円で利用できます。

※レンタル開始後 120 時間 (5 日間) を超えた場合、合計 3,300 円 (利用料、違約金 1,980 円を含む) の支払い義務が発生します。

本件に関するお問い合わせ:

日本空港ビルデング株式会社 事業開発推進本部 事業開発部 事業開発課

TEL:03-5757-8098 9:00-17:30(土日祝除く)